

## グリーンコープは、CO<sub>2</sub>排出<sup>ゼロ</sup>に向けて、具体的に取り組みます。

### EV（電気）車両の導入

2023年 先行導入

大分東C EVトラック1台 軽1台

別府C EVトラック1台

2024年 大分東センター

EVトラック 16台

軽バン 3台

2025年 別府センター

EVトラック 6台

軽バン 6台

2026年 大分西センター・県南センター

EVトラック 18台

軽バン 7台

2027年 県北センター・日田センター

EVトラック 13台

軽バン 4台

配送用トラックのみでなく、加入説明用の軽バンなど、**すべての車両を変更予定!**



### 配達時のドライアイス削減

配達用の新型保冷BOXの導入で、お留守の際の保冷用のドライアイスを除き、**配達時のドライアイス使用量を0（ゼロ）に!**

CO<sub>2</sub>の塊であるドライアイスの削減で、発生を防ぎます。

### 森を守る取り組み

地域の団体とも協力し、竹林保護のための竹の伐採、佐伯城山や杵築の森の自然観察など、**豊かな森を守り育てていくこと**を、体験を通して実感しています。

### これまでも・・・

「トレーtoトレー」「袋to袋」

「リユースびん」「たまごパック回収」

「カタログ回収」

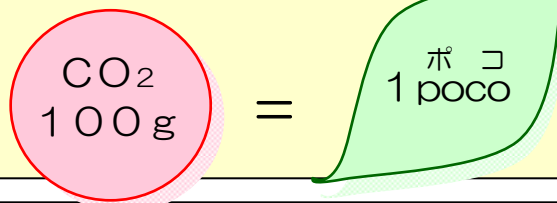
などの取り組みで、ごみ処理にかかるCO<sub>2</sub>を削減してきました!



### フードマイレージ

「ポコ (poco)」でCO<sub>2</sub>削減量を見える化しています。

フードマイレージとは、食べ物の輸送に関わるCO<sub>2</sub>排出量を数字で表したものです。グリーンコープは国産原料にこだわることで、削減できたCO<sub>2</sub>の量を「ポコ (poco)」として表示しています。



### グリーンコープでんき

グリーンコープの市民発電所は、すべて**再生可能エネルギー**による発電所。

#### 太陽光・温泉熱・小水力

発電時に化石燃料を使用せず、CO<sub>2</sub>を発生させません。グリーンコープでんきで走るEVトラックで、クリーンな配達を行います。



### マングローブ植林

どうしても削減できないCO<sub>2</sub>は、**吸収することでニュートラル（±0ゼロ）**を目指します。

マングローブは、木の本体だけでなく土壌にもCO<sub>2</sub>を取り込み貯蓄する能力に長けていて、熱帯雨林を上回るCO<sub>2</sub>吸収量を誇っています。また、エコシュリンプ養殖池の周辺へのマングローブの植林は、海岸線の維持にも役立っています。

### 一人ひとりができること

- ・資源の節約・節電。こまめな消灯・続けてお風呂・エアコンの温度設定・LEDの活用・
- ・リユース・リサイクル。
- ・生ごみコンポスト

**家庭でできる情報を発信していきます。**

